

## 事業概要

Step1 計画

Step2 構築

Step3 運用

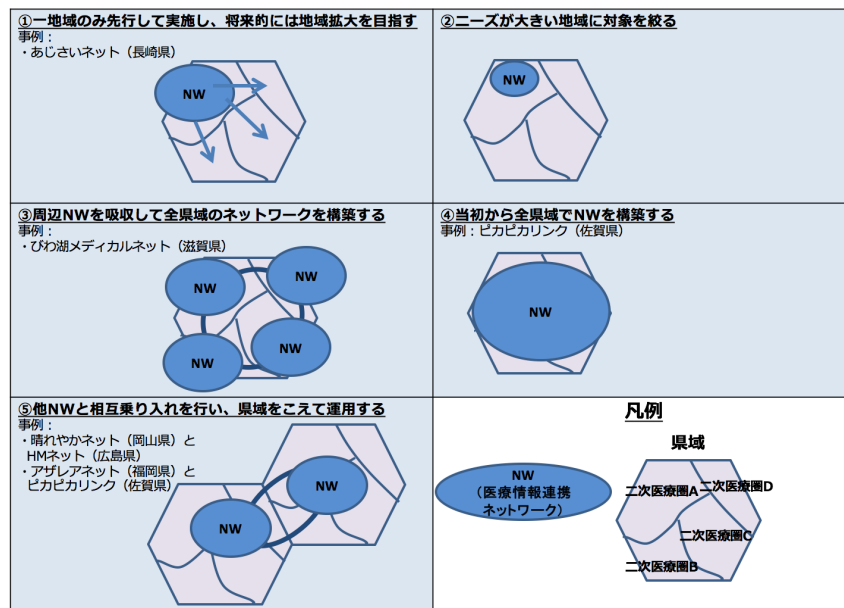
Step4 更改

## 実施事項【Step1 計画 3. 事業概要の決定】

## POINT

- 検討組織で検討した結果などをふまえ、医療情報連携ネットワークを活用した事業の目的に基づいて、利用シーン（参加機関、職種、連携する情報種別など）を想定します。
- 例えば、糖尿病患者の重症化予防が目的であれば、糖尿病専門医、かかりつけ医、歯科医師、保健師などが参加し、処方薬、検査結果や歯周病の有無などの情報共有が望まれます。
- 想定した利用シーンを実現するために、医療情報連携ネットワークの対象としてカバーすべき地域を設定することが必要となります。地域設定は、地域の実情、計画推進主体の意向などをふまえて行います。

医療情報連携ネットワーク（NW）の対象地域設定（例）



▶ 医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- ▶ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- ▶ 医療情報連携ネットワークの導入効果
- ▶ 利用者の声（導入効果）

▶ 医療情報連携ネットワークをどう作る？

- ▶ 医療情報連携ネットワークの構築手順
- ▶ 実施のポイント
- ▶ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ▶ ガイドライン、書式例など

▶ 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

▶ 医療情報連携ネットワークとは

- ▶ データで見る
- ▶ ピックアップ事例
- ▶ 事例を探す

▶ 構築手順

- ▶ 構築手順について
- ▶ Step1：計画
- ▶ Step2：構築
- ▶ Step3：運用
- ▶ Step4：更改

▶ FAQ

- ▶ 用語集
- ▶ お役立ち情報
- ▶ リンク集
- ▶ 資料ダウンロード